

2010年12月14日

(株)グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン

## ガドリニア焼結炉B号機での過加熱防止インターロック作動について

### 1. 概要

弊社は原子燃料ペレットを1800℃に近い高温で焼き固める電気炉(焼結炉)を5機所有しています。その内1機の焼結炉の温度調節器が12月11日(土)故障したため、停止中の焼結炉の温度調節器と交換する作業を実施しました。その作業中に過加熱防止機能が作動していたことが昨日判明したため、本日、経済産業省原子力安全・保安院に対し報告致しました。

なお、本事象につきましては、作業者のけが・被ばくはなく、また、周辺環境への影響もありませんでした。

### 2. 原因

12月11日(土)の午前3時51分頃、第1ガドリニア炉室(注1)のB号機にてゾーン1の温度調節器が故障したことから、作業者は、A号機とB号機の温度調節器は同一であるため、停止中であったA号機の温度調節器をB号機に取り付けて、温度調整を実施していました。その際、電源の投入を繰り返し、ゾーン3の温度が設定温度である1795℃に到達したため、過加熱防止インターロックが複数回作動しました。

(注1) 第1ガドリニア炉室には2機の焼結炉(A号機とB号機)を設置。

### 3. 措置

当該事象が発生したB号機は、その後降温を行い、現在は停止しています。

### 4. 法令に伴う報告

本件事象は、加工規則第9条の16第3号(注2)に該当致しますので、上述のように、本日、経済産業省原子力安全・保安院に対し報告致しました。


(注2) 加工施設の故障により、核燃料物質等を限定された区域に閉じ込める機能、外部放射線による放射線障害を防止するための放射線の遮へい機能若しくは加工施設における火災若しくは爆発の防止の機能を喪失し、又は喪失するおそれがあったことにより、加工に支障を及ぼしたとき。

お問い合わせ先：

(株)グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン広報部 東 (電話：046-833-2321)

以上

焼結炉：二酸化ウランペレットを高温で  
焼き固める電気炉

 : 第1種管理区域

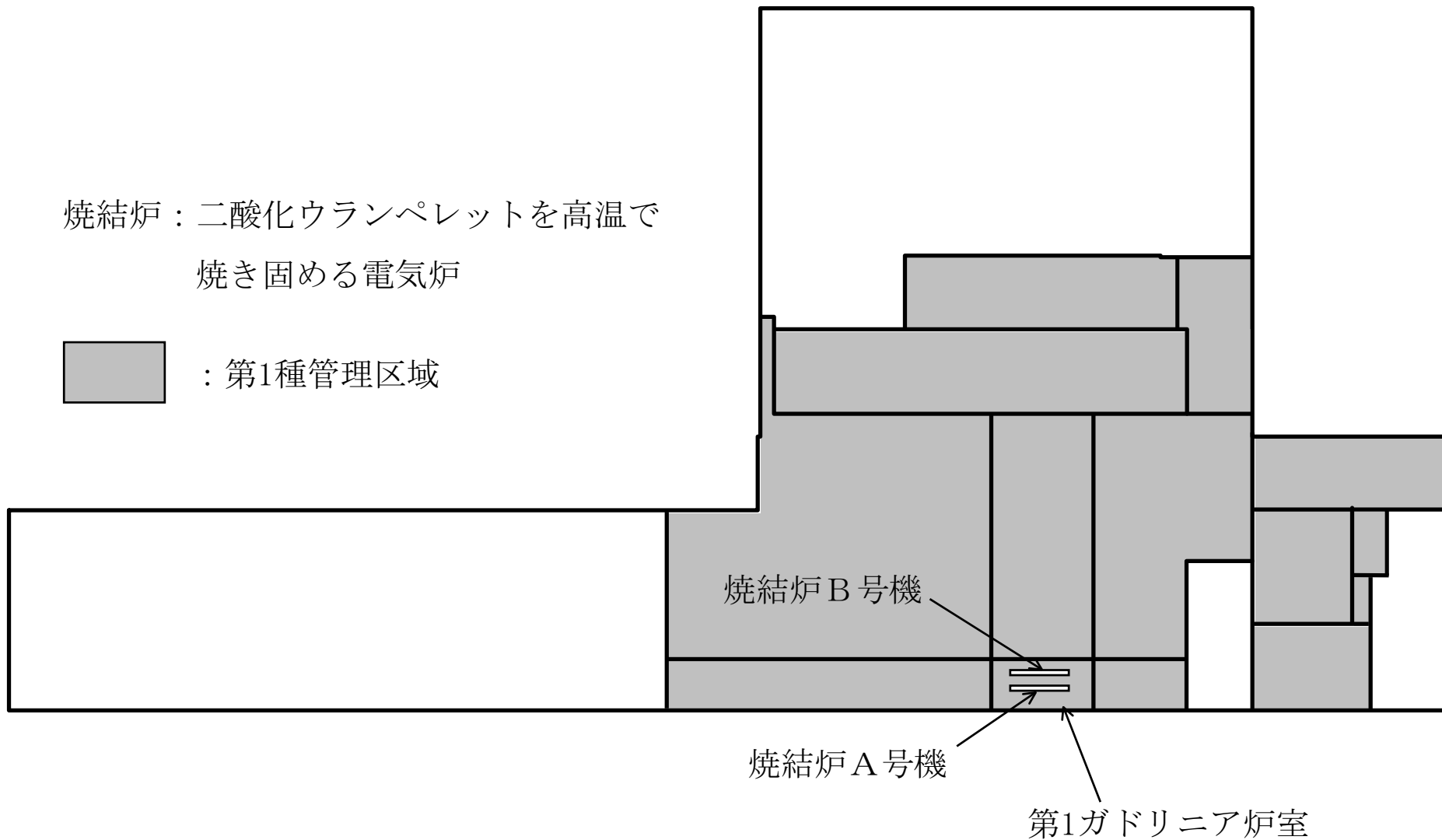


図 第1加工棟の焼結炉の配置図